

令和8年度第1回袖ヶ浦市行政改革推進委員会

1 開催日時 令和8年9月4日（金）午前10時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所南庁舎2階市民協働会議室

3 出席委員

委員	安枝 玲司	委員	宗政 恒興
委員	中山 朝子	委員	根本 政延
委員	高橋 秀彰	委員	内藤 恵子
委員	島村 佳伸	委員	阿津 浩幸
委員	山中 恵		

欠席委員

委員	塩谷 礼子
----	-------

4 出席職員

市長	粕谷 智浩	企画政策部長	千田 和也
D X推進課長	多田 晴美	D X推進課副主幹	宮崎 圭介
D X推進課副主査	小林 未和	D X推進課副主査	源内 勝也

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5名	傍聴人数	0名
------	----	------	----

6 議 題

（1）会長の選出について（審議）

（2）第7次行政改革大綱アクションプラン取組項目令和7年度実績報告について（報告）

（3）第7次行政改革大綱・アクションプラン取組結果について（報告）

7 議 事

（1）会長の選出について（審議）

事務局（宮崎副主幹）

会長は委員の皆様の互選により選出することとなっているため、選出方法を委員に確認。

宗政委員

事務局案があればご提示いただきたい。

事務局（宮崎副主幹）

事務局から推薦する形でよろしいか確認。

委員全員

《異議なし》

事務局（多田課長）

引き続き委員をお引き受けいただいている、前会長の安枝委員を会長に推薦。

委員

《全員賛成》

会長は安枝委員に決定。

（２）第７次行政改革大綱アクションプラン取組項目令和７年度実績報告について（報告）

資料２－１ 第７次行政改革大綱アクションプラン取組項目令和７年度実績報告

資料２－２ 第７次行政改革 令和７年度実績一覧 に基づき説明

【質疑等】

なし

（３）第７次行政改革大綱・アクションプラン取組結果について（報告）

資料３－１ 第７次行政改革大綱・アクションプラン取組結果

資料３－２ 【付録】取組項目実績一覧 に基づき説明

【質疑等】

宗政委員

中富地区ではまちづくり協議会を立ち上げ、活動を始めようとしているところであり、市民がこのような会議に参加し、意見を取り入れていただけることは大変ありがたい。

市内の５地区を見ると、農村地域と海側地域との間には、生活利便性や発展性に差があると感じている。特に農村地域では、子どもの減少や高齢化が進んでいる。近年、予

測が困難な災害が各地で発生しており、災害等の非常時にも対応できるよう、将来を見据えた行政運営及び財政運営が重要であると考えます。

令和８年度から始まった行政改革プランについても、第７次行政改革プランの取組状況や課題を踏まえ、社会情勢の変化に応じて適宜見直しを行い、実態を伴った柔軟かつ迅速な対応ができる計画としてほしい。未来に備える行財政改革を進めていただきたい。

また、中富地区まちづくり協議会としても要望書を提出したいと考えている。その意見に対して、柔軟に対応いただければ、将来的に他の地域でもまちづくり協議会が立ち上がっていくと思うので、今後お願いしたい。

事務局（多田課長）

市の大きな方向性や将来像については、総合計画で取組を進めている。行政改革プランは、行政運営及び財政運営の面から総合計画を支援する個別計画として位置付けている。

第７次行政改革の期間中は社会情勢が大きく変化したこともあり、今後の行政改革は時代の変化に柔軟に対応していく必要があると考える。実施するなかで課題が生じた場合は手段を見直すという考え方を行政改革プランから取り入れているため、より柔軟に対応していきたいと考えている。

中山委員

根形地区でも少子高齢化が進んでいる。現在の財源を適切に維持することも重要であるが、市民サービスを充実させ、将来にわたって市を維持していくためには、新たな財源を確保する必要がある。市に入る財源を少しずつでも増やししながら、将来を見据えた取組を進めていただきたい。

事務局（多田課長）

財源確保の取組の一つとして、ふるさと納税があり、本市においては今後も拡大の余地があると考えている。令和８年度の組織改正によりシティプロモーション推進課を新設し、シティプロモーションと併せてふるさと納税に関する取組を推進する体制を整えた。

また、地域の活性化を図り、人口６万５，０００人以上を維持していくことを市としても重要と考えているため、今後も人口維持につながる取組を進めながら、持続可能な行政運営と財政運営に努めていく。

午前１０時４１分 閉 会